

若者の居場所づくりとその意義



さまざまな方を対象とした「居場所づくり」が社会の中で注目されています。その中で、「若者の居場所」とはどういったものなのでしょうか。なぜ居場所が必要なのか、どのような居場所が求められているのかを考えると同時に、「若者」が本当に居やすい「場」を作るために大切なことは何なのか。多様な世代の多様な関わり方を通して、一人ひとりの「できること」が化学反応を起こす、というポリシーで活動をしている「ざわざわプロジェクト」の活動をうかがい、「居場所」について参加者みんなで考えていきます。

【講師】半澤 由子さん

(ざわざわプロジェクト代表)

ざわざわプロジェクトとは…

「生きづらさを抱えた若者たちにオトナができることは何だろう?」「若者たちにどんな環境が必要なんだろう?」という問題意識から 2013 年に始まったプロジェクト。居場所 100 人インタビューや対話会を重ねて居場所づくりの準備を進めた。2016 年、最初に集まった若者たちと一緒に「関わりと食」をテーマにした【ざわざわキッチン】をオープン。現在は地域に開かれた多世代交流の場にもなっている。

日時 2019年3月17日(日) 14:00~16:00

定員 20名(先着順)

参加費 無料

会場 宮城県婦人会館 第3研修室(宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡5)

**問合せ
申込先** Eメール sexualitymeeting@gmail.com
※申込みの際にいただいた情報は、今回の講座でのみ使用します。



主催 : セクシュアリティと人権を考える会
共催 : 一般財団法人みやぎ婦人会館